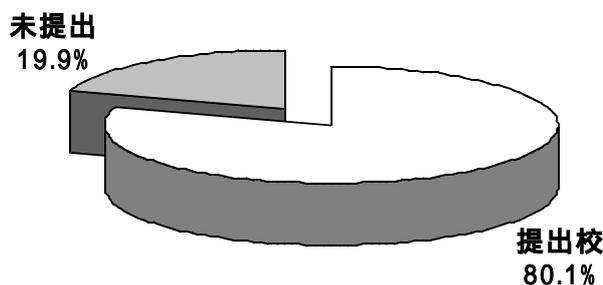


平成22年度 長野県中学校技術・家庭科 実態調査のまとめ

平成6年度から実施され今年で17回目になる本県の「中学校技術・家庭科実態調査」ですが、本年も、先生方のご協力をいただいて実施することができました。

ありがとうございました。

調査対象 長野県内中学校 196校
 (公立 191校 私立 5校)
有効回答数 157校
回収率 80.1% (昨年度83.5%)

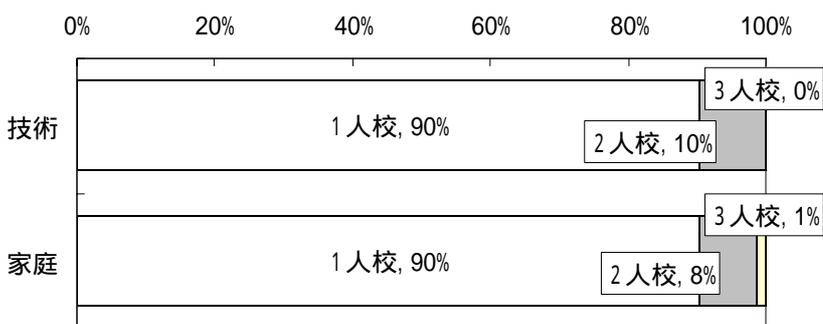


- 平成19年度は78.6%，平成20年度は80.1%，平成21年度は83.5%と，80%前後の回収率をあげてきたが，今年も多く先生方に提出をしていただき，本当にありがたい。
- 学校の統合により，公立中学校の数が少なくなっているが，今年は，私立中学にも呼びかけ，4校からの協力を得た。今後も，公立，私立ともに調査をしていきたい。
- 17年間継続して行っている調査であるが，その呼びかけと回収についてはこれまでも工夫してきた。今年は，5月8日の代議員会を通して全県への連絡を行い，6月28日から8月30日まで調査を実施した。しかし，期間内に回答していただいたのは67校（31%）であり，9月4日の代議員会を通して，再度の呼びかけをした。その後も，代議員から督促していただいたり，研究推進委員長から各校へ直接FAXして協力を促したりすることで，80%の回収率を上げた。委員長からの連絡の返信に，「どのように連絡され，回収されるのかわからなかった」という内容もあり，協力的に調査に参加して下さる先生がいらっしゃっても，連絡が不徹底で提出が遅くなるという面も見られる。来年度の調査の際には，実施方法についてさらに工夫し，徹底していく必要がある。
- 調査内容については，新しい学習指導要領に対応させ，今後の研究に役立つように，今年も，昨年とは違ったものにした。今後も状況に応じて内容を工夫し，先生方のニーズに沿った調査にしていきたい。

1 教科担当教員数

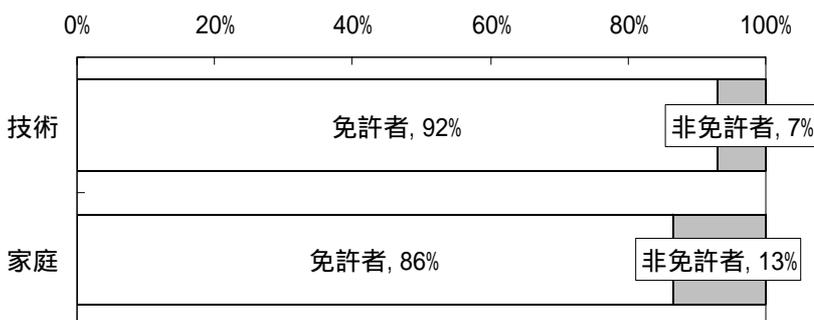
(1) 担当者人数別学校数

	1人校	2人校	3人校
技術	142	15	0
家庭	142	13	2



(2) 担当者数と非免許者の割合

	免許者	非免許者
技術	146	11
家庭	136	21

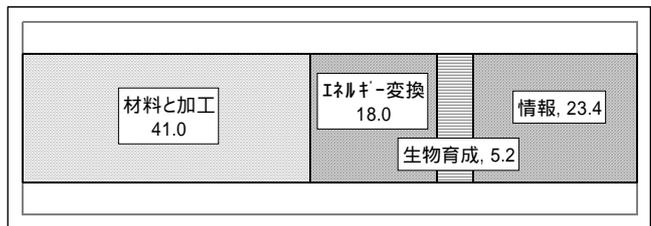


- ・ 9割の学校が、一人で技術・家庭科のそれぞれの分野を担当されており、複数の教員で担当している学校の割合は、年々少なくなっている。新学習指導要領の実施によって、選択教科が実質的になくなり、技術・家庭科教員の持ち時間数が少なくなること、さらにこの傾向は進んでいくと考えられる。また、複数で担当している学校の23%は、非免許の教員が担当しており、複数の教員が配置されていることが、直接、教科の充実を表しているとも限らない。
- ・ 非免許教員の割合も、技術分野、家庭分野ともに、昨年度より多い状況である。本調査に回答していただいた中では、両分野ともに非免許という学校が4校あった。(山間地小規模校)このような学校からは、「専門的な知識や技能の指導ができない」という悩みも寄せられている。本教科の確実な履修を行うために、本同好会や近隣の地区内で、支援し合っていく態勢を作っていく必要がある。
- ・ 時間数の削減により、今後、非常勤講師の数や、学校間のかけもちも増えていくのではないかと心配される。本調査では、はっきりさせることができなかったが、その点についても調査していく必要性が感じられる。

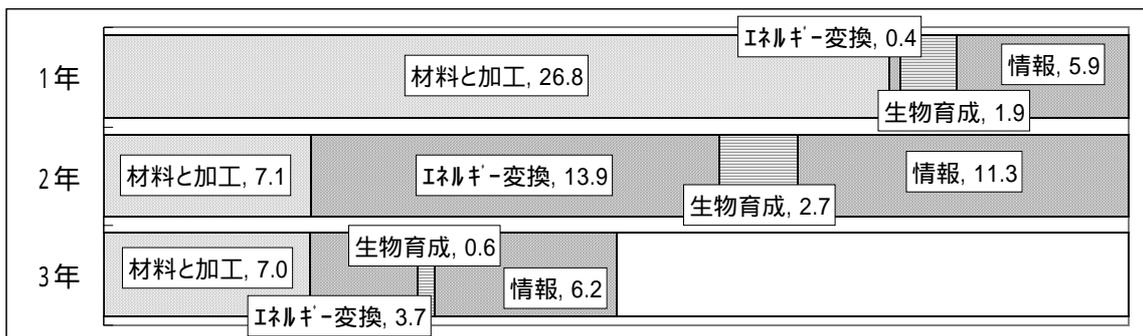
2 分野別学習状況

(1) 技術分野 平均履修時間

	材料と加工	エネルギー	生物育成	情報	合計
1年	26.8	0.4	1.9	5.9	35.0
2年	7.1	13.9	2.7	11.3	35.0
3年	7.0	3.7	0.6	6.2	17.5
合計	41.0	18.0	5.2	23.4	87.5

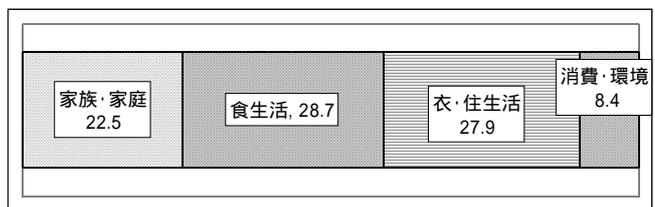


時間数は、全87.5時間中に割り当てられる平均値

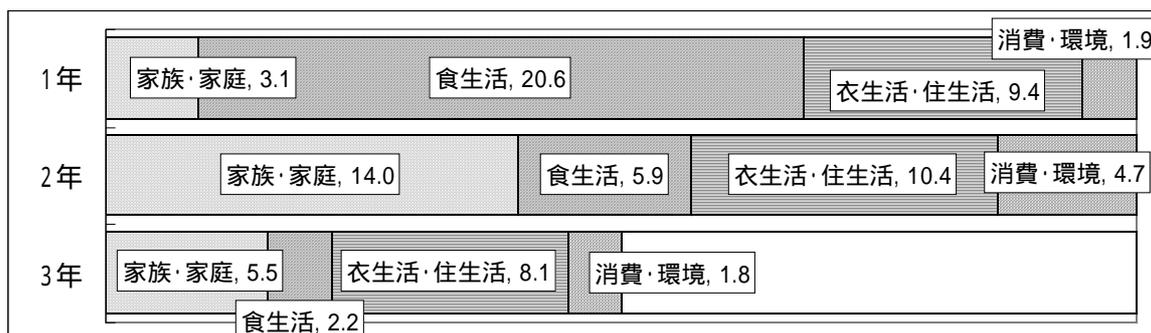


(2) 家庭分野 平均履修時間

	家族・家庭	食生活	衣・住生活	消費・環境	合計
1年	3.1	20.6	9.4	1.9	35.0
2年	14.0	5.9	10.4	4.7	35.0
3年	5.5	2.2	8.1	1.8	17.5
合計	22.5	28.7	27.9	8.4	87.5



時間数は、全87.5時間中に割り当てられる平均値



- ・今回の調査では、新しい学習指導要領の内容別に調査を行った。履修時間については、新学習指導要領では、「授業時数及び履修学年については、地域や学校及び生徒の実態等に応じて、各学校において適切に定めること」とあるので、各校で独自に決めていく必要がある。来年度の計画立案の際には、本調査の結果も参考にさせていただきたい。まだ移行期間であるため、今後の変動についても見守っていきたい。
- ・技術分野においては、「生物育成に関する技術」の履修時間数が少ないが、今後、増えていくことが考えられる。
- ・家庭分野においては、本研究会で提案している平均的な時間数が答えられているように感じる。内容の名称は変わったものの、学習内容は大きく変更していないので、3年間を見通して、どの内容をどのくらいの時間で配列していくかを考えて位置づけていただけたのだと考える。
- ・技術分野と家庭分野の学年別の時間配列については、ほとんどの学校が1、2年で35時間ずつ、3年で17.5時間ずつとしているが、時間数を変更して実施している学校も4校あった。文化祭での作品展示を考え、前期の期間を長くして、1、2年の140時間分を各分野で当分に配置したものだった。各校の実態に応じた工夫に学びたい。

履修時間数を変えた配置例

1年	技術 40時間	家庭 30時間
2年	家庭 40時間	技術 30時間

文化祭を区切りに前期・後期を設定

(3) 技術分野で設定されている製作題材や教材 ()内は費用

1学年

A 材料と加工に関する技術

- ・箱・ボックス, ラック, キャビネット作り (2000~4000)
オリジナルBOX, チェストボックス, ティッシュボックス, マルチBOX 多目的ボックス, オリジナルラック, マルチラック, CDラック, フリーラック, 何でもラック, 整頓ラック
本立て, 小物入れ, 小箱, オリジナルキャビネット, 蓋付きチェスト, ユニット棚, 本棚, 和風棚
整理棚, 学級ボックス
- ・椅子 (900~3900)
2×4材を利用した椅子, 3脚イス, 三角椅子, 四脚椅子, ボックスチェア, 3WAYスツール
箱イス, 踏み台
- ・その他 (~3000)
オリジナルペン立て, なべしき, MYはし, ヒノキバシ, フォトスタンド, 木製プランター
ペンスタンド, 鉛筆立て, メモスタンド, マイスタンド, ソーマキューブ
セレクトセブン, プチタワー, ミニチュア木製品, リサイクル水差し, 引き出し, 花台
鑄造セット (1295)

B エネルギー変換に関する技術

テーブルタップ(1000)

C 生物育成に関する技術

スプラウト (200~300), ハツカダイコン (100~250), ミニトマト (300), 野菜苗 (200)
ハナスベリヒユ (400), パンジー (1000), ヒマワリ (630), 菊 (200), 夏花, サンパチェンス
ミニプランターによる栽培 (1500), 水耕栽培セット (500)

D 情報に関する技術

- ・コンピュータの仕組み ・コンピュータの利用 ・コンピュータの基本操作
- ・インターネットの利用 ・情報モラル (ネット社会の歩き方, 著作権) ・プログラム
- ・ソフトウェアの利用 (使用ソフトウェア ... ワード, ペイント, エクセル, パワーポイント等)
名刺, 自己紹介文, 友だち紹介, 学校紹介, 新聞, 登山記, 技術レポート, 作品カード
成績表, オリジナルカレンダー, 歌詞画, タイピング練習

2学年

A 材料と加工に関する技術

オリジナルラック (2200~4000), C Dラック (2800), アタッシュケース (2200), 飾り棚 (2500)
整理ボックス (2500), フォトスタンド (1000), テーブル (3250), すのこ
間伐材を利用した製作

アルミ作品の製作 (500), キーホルダー (500), ちりとり (350), バッグハンガー (600)
ペーパーウェイト (500), ペンスタンド (1200), 青銅鏡 (3900)

B エネルギー変換に関する技術換

電気スタンド (2000~3500), L E D あんどん (2300), L E D ライト (2000~3500)
L E D コンデンサライト (2500~3000), コンデンサライト (2000), オリジナル蛍光灯 (2800)
L E D スタンド (2000~2500), オリジナルライト (2000), M Y センサーライト (2500)
ソーラー L E D ライト (1700~2500), 3 相ダイナモライトキット (2500), 蛍光ランプ (3000)
ペットボトルエコライト (1500), ポケットライト (2600), ランプシェード (1800), 常夜灯
赤外線センサーライト (2470), ココナッツ (3000), ココナッツフォトスタンド (3500)
1 石ラジオキット (2000), ラジオ (3500), ダイナモラジオ (3000)
I C 作曲目覚まし時計 (3000), L E D ライト付き目覚まし時計 (3000), 時計 (2000)
コンセント B O X (2000), テーブルタップ (500~1000), コントロールボックス (2000)
マルチタップ製作 (1000), 発光ダイオード基板つきテーブルタップ (1000)
A V R マイコン (3000), みんなでロボコン (1500~2000)

C 生物育成に関する技術

スプラウト (100~300), ハツカダイコン (100~250), サツマイモ (100), トマト (300)
ミニトマト (100), でん粉質穀物(甜菜・芋), 枝豆, 大根・ブロッコリー, 夏野菜 (500)
ハーブ (500), マッシュルーム
パンジー (500), 大菊, 夏花壇, 観葉植物, 養液栽培・水栽培 (~1000)

D 情報に関する技術

- ・コンピュータの仕組み
 - ・インターネットの利用
 - ・ソフトウェアの利用
 - ・コンピュータの利用
 - ・コンピュータの基本操作
 - ・情報モラル(ネット社会の歩き方, 著作権)
- 自己紹介カード, 新聞, 挨拶状, 名刺, ありがとうカード
C M づくり, 30 秒コマーシャル, アニメーション, 学校紹介ビデオ, W e b ページ, 学校 H P
オリジナルカレンダー, クイズ, パワーポイントでのまとめ, マグカップ (1100)
- ・プログラムによる計測と制御
- A V R マイコンの制御, L E D 制御キット, ヒダピオ, ビュートレーサー, 自律制御ロボット

3 学年

A 材料と加工に関する技術

フォトスタンド (700~3000), 写真たて (600), くりぬき額, 化粧箱 (2000), 階段ダンス (2000)
折りたたみイス (1700), 堆朱ペンダント, 箸 (600)
キーホルダー (1000~3000), プラスチックキーホルダー (700), 鋳造キーホルダー (1000~1500)
砂時計 (テープカッター) (1500), スタンプ・はんこ (500), キースタンド (1000)
ぶんちん・ペーパーウェイト (1000~2000), ペーパーウェイトペンさし (1500)
ペンスタンド (1000~2400), 低融合金・封入樹脂 (1200), はんだを使ったネームプレート (100)
リサイクル水差し (1000)

B エネルギー変換に関する技術換

L E D ライト (1500~3000), L E D ダイナモライト (2200), L E D あんどん (2500)
マイコン制御 L E D ライト (2000), ランプシェード (2000~3500), 蛍光灯 (2000~3800)
手回し発電ライト (3000), L E D ライト付きキーホルダー (1000), ココナッツ (3200)
センサーライトの製作 (2500), エコライト (1500), ココナッツフォトスタンド (2800)
動くおもちゃ (800), オルゴール (2000), オルゴール人形 (2000), 動く模型づくり (100)
ロボコン (3000), 自律型ロボット (3000), 3 モーターロボ (1500), ダイナモラジオ (4000)
テーブルタップ (700), めざましロボキット (2835), 水位(光電)報知器 (500), エコジャク (290)

C 生物育成に関する技術

エダマメ (1000), スプラウト (200), パンジー (300), マリーゴールドの鉢花栽培 (100)
小菊, 大菊

D 情報に関する技術

- ・情報モラル(インターネットのルールとマナー, 携帯電話のルール)
 - ・ソフトウェアの利用
- 3 年間の思い出(マルチメディア), おもちゃのパッケージ, 新聞, 保育園実習記

Webページ, オリジナルCM, ムービー, 学校HP, 修学旅行記, 修学旅行のプレゼン
オリジナルはんこ, マイリトルアース, RPG,

・プログラムによる計測と制御

USB-I/OによるLED制御, タートルロボットの制御, ビュートレーサー, プロロボ
プログラムカー, ライントレースカー

(4) 家庭分野で設定されている製作品や教材 ()内は費用

1 学年

衣生活, 住生活にかかわる製作品, 教材

アームカバー (300), アクリルモップ (100), あずま袋 (800), エコカイロ (420)
ティッシュカバー (200), ティッシュボックスカバー (150~480), エコバッグ (700~1140)
エプロン (1000~1500), キッチンウェア (1500), ワーキングウェア (800), 箸袋 (100~1000)
巾着袋 (300~780), お弁当包み (500~650), スウェーデン刺繍 (2000), マスク (80~200)
ファイルカバー (800~1250), 台ふき (100), 花ふきん (400), 刺し子 (390~800)
デザインTシャツ (1490), トラベルポーチ (880), ハーフパンツ (900)
フェルトのおもちゃ, マスコット (50~500), ふきん (150), ペットボトルホルダー (1000)
ランチマット (600~1000), リメイク小物 (800), メッセージボード (1000)

調理実習

郷土料理, お弁当, ハンバーグ, シチュー, ムニエル, ミートソース, 肉料理, 魚料理, 野菜料理
一食分の食事づくり, 簡単な日常食, 地産地消の料理, 和菓子, 食品の選択と調理

その他の題材等

幼児のおもちゃづくり, 幼稚園訪問, お年寄りとの交流, 自分史作り
衣服の手入れ, 基礎縫い練習, 制服の手入れ, 快適な住まい, 住まいの安全

2 学年

衣生活, 住生活にかかわる製作品, 教材

Tシャツ (980), クラスTシャツ (1000~2000), はっぴ (900), フリースベスト (2150~3000)
パーカー (2400~2800), ショートパンツ (1500), ハーフパンツ (2000~2300), じんべえ (3800)
ワーキングウェア (1000~2000), エプロン (500), バッグ (800~1500), お弁当袋 (600)
エコバック (750~2000), トートバック (800~1500) あずま袋 (800), コンパクトバッグ (760)
サイコロ (1000~1200), スウェーデン刺繍 (~1300), ティッシュボックスケース (400)
エコグッズ (500), 巾着袋 (630), ペットボトルカバー・ホルダー (650~1000), 箸袋 (200)
ランチマット (590~850), ファイルカバー (650~1260), ブックカバー (0~200)
手帳カバー (800), フェルトボール (200~500), フェルト名札 (700), ふわふわボール (100)
音の出るボール (780), 絵本 (500~800), フォトスタンド (1000), 保育名札フレーム (200)
ウォールポケット, 小物作り (100~1000), 生い立ち本 (200)
平面計画シール (250), 住宅模型 (1100)

調理実習

日常食, エコクッキング, おやつ, 郷土・地域食, 1日分の献立作成

その他の題材等

私たちの成長と家族・地域, 私たちの幼いころ, 幼児のおもちゃづくり, ふれあい訪問
私たちの衣生活, 私たちの生活と住まい, 衣・住生活の工夫, 快適な住まい
家庭生活と消費, 金融・消費調べ,

3 学年

衣生活, 住生活にかかわる製作品, 教材

CDケース (650), あずま袋 (105), エコバッグ (600~1500), メッセンジャーバッグ (1250)
リバーシブルバッグ (900~1500), 箸袋 (300), ペットボトルフォルダー (680), 弁当袋 (540)
刺し子の巾着袋 (1000), 名札ケース (500), エプロン (700), カーゴパンツ (1900)
ショートパンツ (1200), ハーフパンツ (1300~2300), Tシャツ (900~3000), じんべい (3800)
プルオーバーシャツ (3000), フリースパーカー (3000), パーカー (2720), ベスト (2300)
フリースベスト (2100), 幼児のおもちゃ (~800), フェルト小物 (~1000), お手玉 (300)
カラフルサッカーボール (1000), クッション (1500), ぬいぐるみ (500~800),
フェルトボール (800), ボールのおもちゃ (800), クリーナーモップ (800), 布積み木 (150)
スウェーデン刺繍 (500~1000), 手作りお掃除グッズ (85), 手作り絵本 (画用紙) (50)
コサージュ (地域に学ぶ) (1500), 平面計画シール (200)

調理実習

エコクッキング，おやつ，お弁当，もてなし料理，会食，郷土食，行事食，米を使った調理
郷土料理を幼児向けおやつに改良

その他の題材等

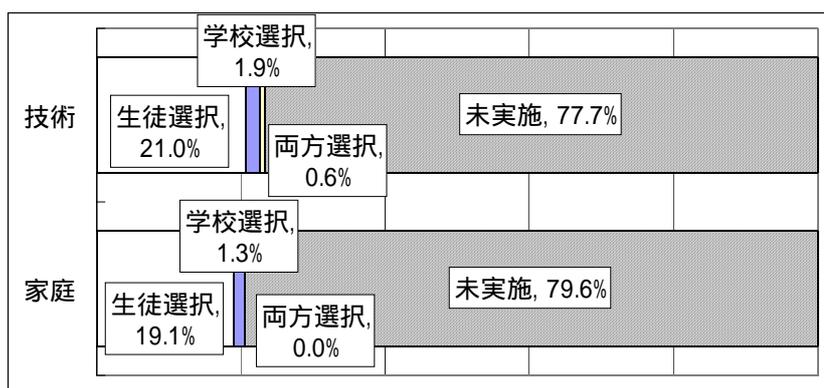
家族への感謝の気持ちを伝えよう，家庭と家族関係，私たちの成長と家族・地域
自分史づくり，住生活と環境，幼児とのふれあい，幼児の生活と家族，消費と環境

- ・昨年度の調査では、「製作題材」と「題材名」の混同が見られたので，本年度は「製作題材，教材」として調査を行った。県教委から出された「手引き書」では，「製作題材」を「製作品」として定義しているので，今後は「製作品」で統一していく方向で考えたい。
- ・製作題材は名称だけを載せたが，どのくらいの学校数で設定されているかがわかると，参考にしやすい。集計の仕方，掲載方法を工夫していきたい。また，写真等の掲載も考えたい。

3 選択教科の実施について

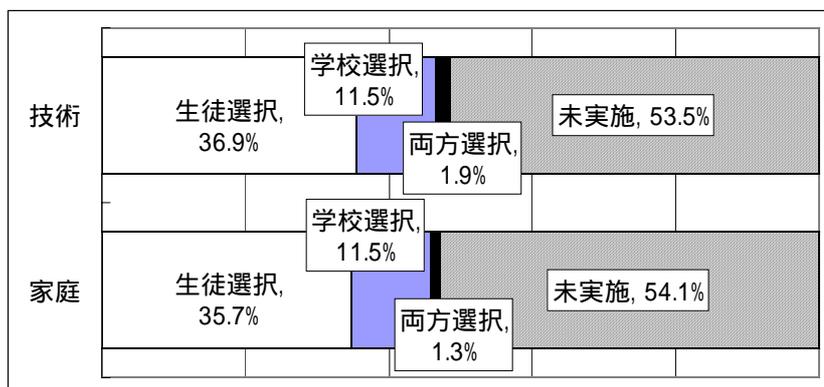
(1) 選択教科の講座開設状況 2 学年

	生徒 選択	学校 選択	両方 選択	未 実施
技術	33	3	1	122
家庭	30	2	0	125



3 学年

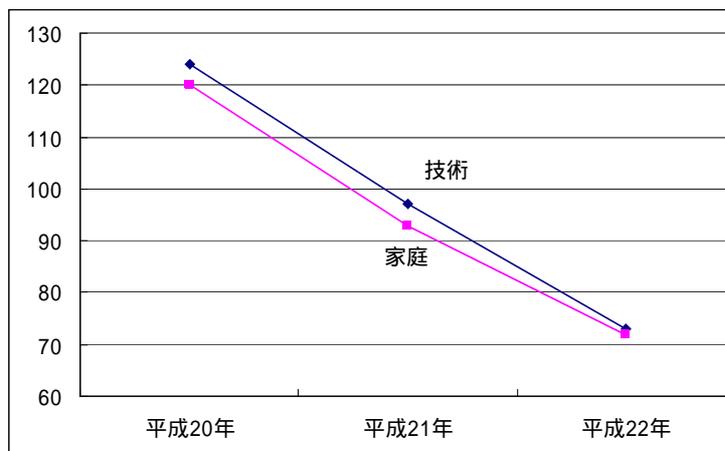
	生徒 選択	学校 選択	両方 選択	未 実施
技術	58	18	3	84
家庭	56	18	2	85



(2) 過去の実施状況

(全学年を通した実施数)

	平成20年	平成21年	平成22年
技術	124	97	73
家庭	120	93	72



(3) 選択教科で設定されている製作題材や教材 ()内は題材費用

技術分野

A 材料と加工に関する技術

1 × 4 材を使用した製作 (1000)， 2 × 4 材を使用した製作 (1500 ~ 3000)

2 × 4材によるベンチ, ベンチ (1000 ~ 4000), ミニタンス (4000), ミニテーブル (2500)
 椅子 (1500 ~ 3000), 家具調椅子 (4000), 三脚椅子 (3000), 四脚椅子 (3500), 本立て (2500)
 折りたたみ椅子 (2500), 家具 (2000), 見開き 2 段棚 (3500), 小物台 (3000), はし (~ 300)
 アタッシュケース (2000), ブリッジ (200), 千鳥格子 (300)
 キーホルダー, 文鎮, 鑄造キーホルダー (1300 ~ 1600), ブックエンド (1000)
 名札ボックス, 根羽杉の作品, 自由製作, 学校備品の修理

B エネルギー変換に関する技術換

ロボコン (~ 3000), 3 モーターロボ (1500)
 LED 表示器の製作 (2400), からくり貯金箱 (1000), ココナッツ (2800)
 スピーカー・アンプづくり (3000), 光センサー LED ライト (1500), 音声目覚し時計 (4000)
 エコランのマシン製作, バイオ燃料づくり,

C 生物育成に関する技術

プランター栽培 (野菜) (300), ミニトマト, 菊 (500 ~ 1000)

D 情報に関する技術

Web ページづくり, PC ゲーム作成, 表計算, ケータイ着メロづくり, ココナッツプログラム
 シミュレータと CAD, タイピング練習, パソコン検定, ビデオ作品作り, マルチメディアの活用

家庭分野

衣生活, 住生活にかかわる製作品, 教材

オリジナル T シャツ (860 ~ 1200), フリースの防寒着 (2500), じんべい (3000 ~ 4000)
 浴衣 (3000 ~ 5000), ハーフパンツ (1670), フリースベスト (3000), マフラー (2000)
 編み物 (500 ~ 1000), かぎ針縫い (1500), クロス刺繍 (2000), スウェーデン刺繍 (1000 ~ 2000)
 刺繍 (3000), バッグ (0 ~ 2000), エコバック (900), エプロン (1000), ティッシュケース (300)
 テディベア, めいぐるみ, ブックカバー (~ 900), 幼児のはっぴ (1000), 幼児のマスク (200)
 ペンケース (680), 小物入れ (300), 松本てまり (1500), 布絵本 (3000), 手芸 (200 ~ 4000)
 小物作り (500 ~ 1000), 平面構成の衣服 (5000), 自由製作 (500 ~ 3000)

調理実習

調理実習 (400 ~ 1000, 各自持参) おやつ (700), お弁当 (500 ~ 1500), 行事食 (700), 郷土料理
 絵本に出てくるお菓子や料理作り

その他の題材等

・地域参加 (介護・調理) ・賢い消費者になろう ・福祉施設訪問 ・和装・マナー

- ・昨年度から選択教科の調査内容に, 「生徒選択」と「学校選択」の欄を設定している。新学習指導要領が実施されると, 実質的に選択教科はなくなるので, 来年度までの調査となる。
- ・移行期間中は, 選択教科は開設されなければいけないのだが, その時間内に本教科が開設している学校数が少なくなっている。新学習指導要領で時間数が増加する教科に, 前もって割り振られているのだろうが, 本教科の時間数が少なくなっているのは残念である。
- ・選択教科で設定されている製作題材や教材についても集計した。これらの, 必修の学習から発展した製作題材や教材が, 選択教科がなくなることで扱われなくなるというのは, 非常に嘆かわしいことである。選択教科には, 「技術・家庭科をもっと学びたい」という生徒が集い, 熱心に製作や活動に取り組んだ。そして, 技術・家庭科教員の専門的な知識や技能があふれていた。基礎的・基本的な知識や技能を習得させる必修の学習以外で, 生徒たちが技術・家庭科の学習を深める場や, 技術・家庭科教員が専門性を発揮する場を, 新たに見つけていきたいと考える。

**4 総合的な学習の時間の活動に, 技術・家庭科の題材を取り入れている学校
 実践校 10校 (5.1%)**

題材	材料と加工	原木を生かした鉛筆立て, レターラック, 木工作品, 多目的箱, 看板, 水差し, 真鍮ペンスタンド, 巣箱ステンレス恐竜模型,
	エネルギー	ロボコン,
	生物育成	しいたけ栽培, 巨峰栽培,
	情報	情報モラル, CM 製作
	食生活	郷土料理づくり (文化祭), 地元の野菜を育てて調理
	衣・住生活	りんごの枝で染色, 染めて織る

- ・10校という数字は、製作題材名の調査から割り出したものであるため、実際はもっと多くの学校で様々な活動が行われていると予想する。新しい学習指導要領になって、総合の時間が減少するので、今後の動きも見ていきたい。
- ・選択教科の考察で書かせていただいた「生徒たちが技術・家庭科の学習を深める場」や「技術・家庭科教員が専門性を発揮する場」を、総合的な学習の時間に見いだしていくのも、私たちの生き残りの方向だと考える。昨年度、提案した「本教科教員が総合を担当し、持ち時間数を増やす」という発想が、今後生きてくると良いと思う。

5 部活動について

(1) 技術分野

有数	部活名称	活動内容
30校 19.2%	技術部 文化部 科学部 情報技術部 科学技術クラブ	ものづくり ・個人製作 ・木工製作 ・ペーパークラフト ・鳥の巣箱づくり ・木材工作コンクールへの参加
平均 人数	パソコン部 ロボコン部 パソコン・園芸部	・ロボットの製作、ロボコンへの参加 ・文化祭に向けての製作 ・菊栽培 ・野菜栽培 ・創造ものづくりフェアへの参加
21.0人	文化パソコン部 総合文化部 科学・技術・家庭部 郷土コンピュータ部	・校内環境の保守と整備 情報 ・パソコン技能習得、タイピング練習 ・画像編集 ・ソフトウェア操作の習得 ・動画の制作、編集 ・アニメーションの制作 ・音楽の制作 ・ゲーム制作 ・ホームページ制作 ・プログラミング ・パソコン検定への参加 その他 ・科学実験 ・バンド演奏 ・郷土史調査 ・技術交流会への参加 ・ふるさとCM大賞への参加 ・統計グラフコンクールへの参加

(2) 家庭分野

有数	部活名称	活動内容
21校 13.5%	家庭科部 家庭部 家政部 家庭生活部 ホームメイキング部	製作活動 ・個人製作（洋服、パジャマ、浴衣、和裁、小物、手芸） ・共同製作 ・ファッションショー（文化祭）
平均 人数	クッキング部 家庭・園芸部	・野菜栽培 ・作品コンクールへの出品 調理
17.5人	創作部 茶道部 書道・工芸部 科学・技術・家庭部	・調理実習 ・お弁当コンクールへの参加 その他 ・書道 ・絵手紙 ・イラスト ・茶道を学ぶ ・文化祭でお茶を点てる

- ・昨年からは部活動についても調査を始めたが、昨年より、技術・家庭科に関する部活動を行っている学校数が多くなり、部員数も増加した。増加傾向にあるのは、私たちにとって嬉しいことである。本同好会で行っているものづくりフェアやロボットコンテスト等の活動が広く知られるようになり技術・家庭科に関する部活動に目的や成果が明確になってきたことが一因と考えられる。さらに部活動の輪を広げていきたい。
- ・総合的な学習の時間と同様に、「生徒たちが技術・家庭科の学習を深める場」、「技術・家庭科教員が専門性を発揮する場」のひとつとして部活動も考え、活発にしていきたい。

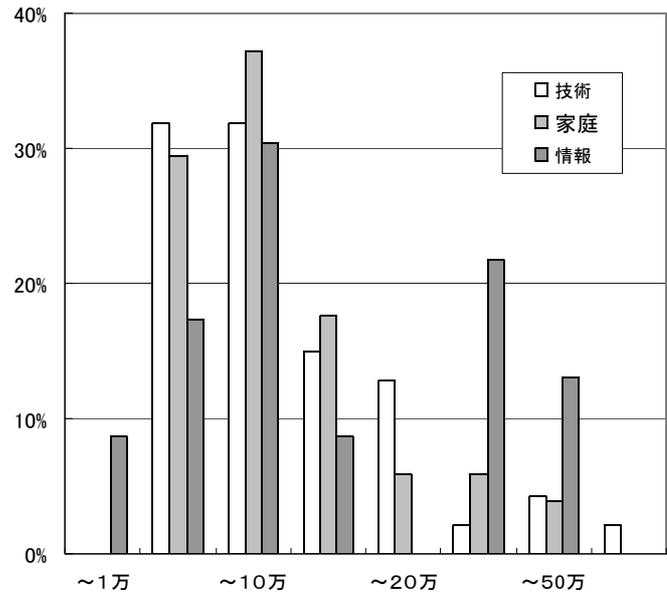
6 予算状況

(1) 備品予算

	技術	家庭	情報
予算支給 回答学校数	47 (29.9%)	51 (32.5%)	23 (14.6%)
1万以下	0	0	2
～5万	15	15	4
～10万	15	19	7
～15万	7	9	2
～20万	6	3	0
～30万	1	3	5
～50万	2	2	3
50万以上	1	0	0
平均費用	¥105,649	¥90,375	¥130,952

過去の平均費用

H20年度	¥112,266	¥114,454	¥192,000
H21年度	¥98,696	¥115,018	¥140,692

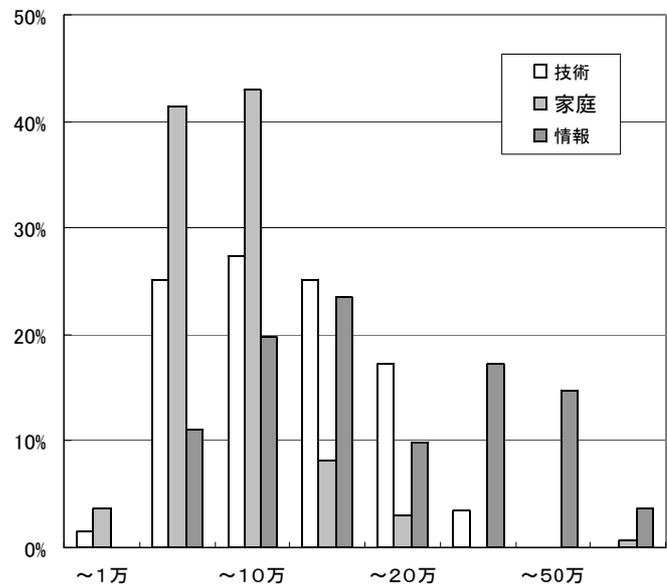


(2) 消耗費予算

	技術	家庭	情報
予算支給 回答学校数	139 (88.5%)	135 (86.0%)	81 (51.6%)
1万以下	2	5	0
～5万	35	56	9
～10万	38	58	16
～15万	35	11	19
～20万	24	4	8
～30万	5	0	14
～50万	0	0	12
50万以上	0	1	3
平均費用	¥95,069	¥61,765	¥176,485

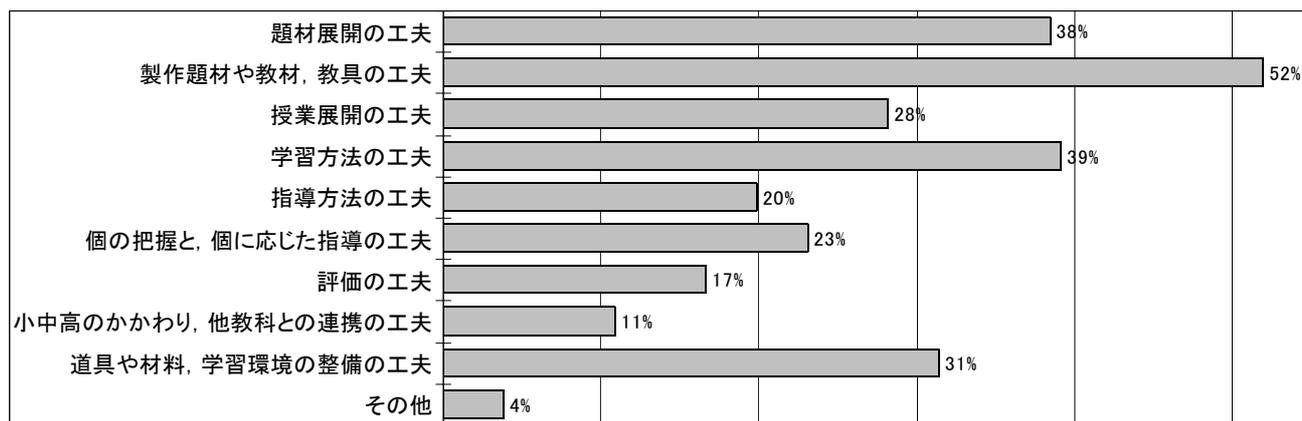
過去の平均費用

H20年度	¥103,035	¥64,770	¥199,275
H21年度	¥97,580	¥58,598	¥177,940



- ・備品・消耗費ともに、昨年度、一昨年度と比較して、減額されている。特に備品については、支給されている学校が30%程度しかなく、なかなか予算が獲得できない状況がわかる。
- ・市町村等、全ての予算が減額している状況下で、従来どおりに予算を確保していくのは難しいが、新学習指導要領に対応した学習を実施するためには予算が必要である。積極的に予算の確保をしていきたい。
- ・「予算調査」について、「生徒たちの学習の充実と直結しているか？」と質問が寄せられているが、予算の少ない学校では、この結果をもとに、市町村への要望を上げていただき、生徒たちの学習の充実と直結する施設・設備や教材、教具を整えていただきたい。また、どのようにすれば予算が獲得できるのか、同好会等でも話題にいただき、本教科教育を充実させたい。
- ・情報の予算については、これまで継続的に調査してきたが、ほとんどの学校で施設・設備が揃い、調査の必要性がなくなっている。また、必ずしも技術・家庭科教員が情報係を担当しているわけではなく、正確な予算が分からないために回答をいただけない学校も多い。来年度からは調査をしない方向で考えている。

7 教科指導，教科運営等で工夫していること（3つを選択）



(1) 題材展開の工夫（学習の内容やその扱い方等）

- ・ 学年や発達段階に応じた学習内容の検討
- ・ 3年間を見通した学習展開
- ・ 学年のつながりを考えた題材展開
- ・ 題材と題材とを関わらせた展開
- ・ 基本的な技能を習得してから本題材に移行する題材の扱いを行うようにしている。
- ・ 基本的な知識や技能を学んだ上で，それを生かしてオリジナルの作品へと発展させる展開。
- ・ つける力を決め出し，基礎題材と応用題材とに分け，効率的に学習する題材の開発と展開を工夫。
- ・ 新学習指導要領に向けて，技・家で連携したガイダンス，大きな流れの授業構想の立案。
- ・ 1年でハツカダイコン，2年でミニトマトと発展させた生物育成の学習を行っている。
- ・ 1年技術では，共通製作と自由製作を行い，技能の定着を図っている。
- ・ 3年間を見通して，地域ならではの題材，地域との連携を考えた題材を考え，試行錯誤している。
- ・ 生徒の興味が持てるように，相手意識に立ったものづくりを設定。
- ・ 体験の少ない生徒に3年間で繰り返しものづくりを行っていく。
- ・ 日常生活やこれからの生活に生かせる内容を中心に扱う。
- ・ 題材のはじめにガイダンス的な内容を設定し，見通しをもたせる。
- ・ 技術を2人の指導者が担当しているので，得意分野で受け持つようにしている。

(2) 製作題材や教材，教具の工夫

- 基礎的・基本的な学習ができる製作題材や教材，教具
- ・ 基礎・基本をふまえた題材
- ・ 基礎が定着するように，簡単な題材を2回取り入れる。
- ・ 技術的な要素を大切に，いかに正確にできるかといったことに的を絞っている。
- 生徒の興味関心や意欲を高める工夫，題材や教材の選択
- ・ 生徒が興味関心を持って取り組む題材の設定
- ・ 生徒にとって身近で必要感のある教材の開発
- ・ 生徒の興味を引く題材を取り入れるため，生徒の意見を聞きながら題材を改良していく。
- ・ 3学年では授業時数が少ないので，興味関心を高められる複合教材を取り入れている。
- ・ 興味関心がわきやすく取り組みやすいものと同時に，社会情勢の中で安価なものと工夫している。
- ・ 生徒が体験を通して学べるような教材や教具を準備し，主体的に学習に取り組む学習を工夫。
- 一人一人に対応し，わかりやすい製作題材や教材，教具
- ・ 生徒の実態にあった製作題材
- ・ 製作題材，布地など，生徒が選択できるものの選択
- ・ 個の考えが生かせる教材，実用性がある製作題材
- ・ 少人数を生かした個別の教材・教具の選択
- ・ 製作見本や提示教材の工夫
- ・ 短時間で製作ができ，目標が達成できる題材
- ・ 時間を短縮するための支援教具の開発
- ・ 各自の個性（オリジナリティー）を出すことのできる教材設定
- ・ 教科書などの写真での説明だけでなく，できる限り実物で，体験できるような教材を用意する。
- ・ 見て作業が進められるように，見本を多く用意している。
- ・ 作業工程のDVDの製作
- ・ 製作品の模型づくり
- ・ 大型モニタで実物投影機の常時活用
- ・ 製作手順の説明で，あらかじめデジカメで撮影した写真を黒板に掲示。
- ・ 生徒のつまずきに対応できるように技能のポイント等を模造紙や写真にまとめて教室内に掲示
- ・ ハンダ付けにおいて，一人一人が基板を固定できる教具を用意。
- ・ 製作の細かな部分の説明は，寸法を記入した画像付き資料を配付し，理解を高めるようにした。

生活に生きる製作題材や教材，教具の工夫

- ・家庭生活で実践できる題材を設定
- ・地域性を生かした材料，製作題材の選定
- ・根羽村の特産品である「根羽杉」を利用した木材加工を経験できるように考えている。
- 新しい学習指導要領への対応
- ・新しい学習指導要領に対応した「思考力，判断力，表現力」の育成に向けた題材開発
- ・ワンチップマイコンでの計測制御
- ・計測と制御分野での題材開発
- ・制御題材として，シミュレーター付きの教材（ビュートレーサー）を複数人に1台購入し，購入費用を抑え，全員が操作できるようにした。
- 学習展開の工夫につながる製作題材や教材，教具
- ・時間数を有効に利用する融合題材の工夫
- ・つながる教材…歌詞画制作 歌詞画を入れるフォトスタンドの製作 飾る台の製作
- ・プリンターの製作 作物の栽培と展開することで，作成したものを活用できるようにした。
- ・穀物の栽培から一部を食用とし，残りからエタノールを精製し，ゴルフカートを走らせる。（アルコール製造許可取得済み）
- ・生物育成（ひまわり），材料と加工（プリンター）を組み合わせ，ひとつの題材として設定。
- 課題解決能力を高める製作題材や教材，教具
- ・個が課題に取り組める題材選択
- ・CDラックづくりでは，仕切りの板を入れる事を条件にすることで，のこぎりやカンナ，釘打ちの課題追究場面を仕組んだ。
- その他
- ・課題解決力を伸ばす学習カードの工夫
- ・表現力を高めるための学習カードの工夫
- ・毎年，製作題材を工夫
- ・ものづくりの楽しさを体感できる題材の選択
- ・実際に作り，情報交換をし，教材を選択
- ・設計を重視した学習
- ・材料と加工に関する技術では，一枚の板からものを作ることにこだわっている。
- ・技術を評価する能力をつけるため，アイデア発見に取り組んでいる。
- ・常に新しい情報を仕入れ，取り入れることができる内容についてはできるだけ対応していく。
- ・選択教科では，個人製作から共同製作を中心にした。

(3) 授業展開の工夫（課題解決学習，導入やまとめの展開方法等）

「分かる授業」の実践

- ・長野県の「3観点」(ねらい，めりはり，みとどけ)を意識して，授業展開している。
- ・学習問題，学習課題，まとめのパネルを用いて，授業にめりはりをつけている。
- ・授業の際に「学習問題」と「学習課題」を提示し，学習カードの積み重ねをしている。
- 課題解決学習の設定
- ・できるだけ問題解決的な学習を組み入れる
- ・題材展開のポイントで，意識的に課題解決学習を設定
- 「課題把握」「課題確認」の導入の段階の重視
- ・場面を決め出して，課題解決学習を設定
- ・共通課題と個別課題を関連づけて設定
- 導入でのわかりやすい説明を工夫
- ・個の課題を明確化
- ・生徒一人一人がねがいを持って授業に参加できるような導入を行う。
- ・生徒自ら課題を発見できるよう課題の提示方法を工夫している。
- 「整理・発展」のまとめの段階の重視
- ・授業終盤のまとめの場面の重点化
- ・終末を大切に学習カードの工夫
- ・毎回の授業の振り返りを蓄積
- 生徒が自ら取り組み，かかわり合う授業
- ・教師の出を少なくし，生徒の出やかかわりを増やす
- ・友とかかわり課題解決を行う場面設定
- ・友と学び合い，学習を進めるための工夫
- 学習内容の精選
- ・教える部分と考えさせる部分をしっかり分ける
- ・教えるべき内容，気づかせるべき内容を精選
- ・1時間の授業の流れで，学習カードを作り，学習内容を精選しておく。
- その他
- ・ものづくりが好きな生徒が多いため，できるだけ製作を中心に授業を進めるようにしている。

- ・調理実験や野菜の切り方等のミニ実習を設定
- ・身近な問題と関連付けた授業展開
- ・早く作業が終了した生徒が教師役となり教える。
- ・題材展開の中で、考える場面や繰り返し練習をする場面を、メリハリをつけて進めるようにしている。

(4) 学習方法の工夫（学習活動の方法、ペアやグループ学習等）

学習活動の工夫

- ・新聞記事など時事的なテーマについて調べ学習をし、レポートづくりをする。
- ・生徒が必要感を感じる話し合い活動の設定
- ・他と関われる授業場面、練習機会の設定
- 学習形態の工夫
- ・一人調理等の個別学習、ペア学習、グループ学習を、題材や場面を選んで設定している。
- ・学習活動によって、よりよい学習形態を選んで設定している。
- ・級友同士が関わり合ったり、助け合って学べるような場をとるようにしている。
- ・ペアやグループで見合ったりアドバイスをしたりする活動を取り入れている。
- ・基本的には個人学習を設定
- ・協力のし方や全体で学ぶ価値を考えさせて学習展開している。
- ・ペア学習の設定（製作、練習、課題追究場面、評価場面）
- ・ペア学習のよさや成果を実感できるように振り返りの時間を設定。
- ・グループ学習の設定（話し合いや意見交換の場面、課題追究場面、調査活動、協働製作学習）
- ・グループでの支え合いや協力について、班編制の方法や、声かけ等に注意している。
- ・ロボコンなどへのチーム参加で、設計・製作・調整などをグループ（チーム）で課題解決していく学習を設定している。

(5) 指導方法の工夫（教える方法、TTや外部講師の活用等）

わかりやすい指導方法

- ・示範を多くし、見させて、わかりやすく説明
- ・視覚に訴える情報機器の活用
- ・図示の方法等、効果的なものを研究
- ・デジタルTVとデジタルカメラ（ムービー）を利用した、作業場面の提示
- ・個のペースに合わせて製作できるような学習資料の準備
- ・説明書を教師がわかりやすく学習カードに盛り込み、学習カードにして活用している。
- 生徒同士がかかわりやすくする方法
- ・生徒の意見交換をしやすくする付箋紙の使用
- ・生徒同士をかかわりやすくする学習カードの工夫
- ・意見交換や考えを共有しやすいホワイトボードの利用

TT, 外部講師の活用

- ・TTが可能な時間割の工夫
- ・栄養士とのTTのあり方の研究
- ・お手玉の作り方を地域の方に学ぶ
- ・地域の大工さんを講師に招待
- ・消費生活センター職員の講演会
- ・食育教育で、栄養士さんを講師に招待
- ・支援が必要な生徒に対して支援ボランティアの方に個人指導をしていただいている。
- ・地域ボランティアの方に調理を教えていただいている。
- ・塗装職人を招いて、塗装のプロを目指す
- ・製作補助のための外部講師の活用
- ・小中併設校のため、小学校の技術科免許取得教員と中学校教員によるTTの実施

(6) 個の把握と、個に応じた指導の工夫

個の把握

- ・個のとらえや学習ぶりを把握できるような学習カードや記録カード
- ・生徒個々の学習の様子を蓄積していく評価カード
- ・記録を書き込んでいく座席表
- ・クラスの人数が少ない利点を活かして、個のつまづきを把握し、必要に応じた個別指導を行う。
- ・座席表への記録や学習カードのまとめを、課題の設定や次の時間に活かしていく。
- ・時間ごとの区切りで生徒に進度を聞き、遅れている生徒への指導・助言を意識する。

個に応じた指導

- ・個々の課題解決の段階を把握し、指導に生かす。
- ・生徒の実態に応じた練習題材を開発
- ・生徒同士の支え合いを促し、個に対応をする。
- ・支援シートを作り、個で追究できるように工夫
- ・小規模校なので、一人一人の進度や技能に合わせた助言や指導を心がけている。
- ・TTとしてもう一人の教師が入り、指導・助言等行っている。
- ・特別支援学級の生徒も原級で学べるような個別指導
- ・放課後等、遅れている生徒を個別指導

(7) 評価の工夫（評価の観点や評価項目、評価の方法等）

評価計画の立案

- ・評価の観点と規準を明確にして評価
- ・特に3学年の履修計画を具体的に立案
- ・各学年、各題材に合わせて評価の観点の決め出し、評価方法を明確にしている。

- ・本時でつける力を精選して1つに絞り，評価を的確に行うようにしている。

評価の方法

- ・ポートフォリオの作成
 - ・座席表の利用
 - ・ルーブリックの活用により，達成感の持てる評価と展開
 - ・小題材のまとめに，実技テストをしたり，作品の評価をしたりする。
 - ・工夫・創造に関わるテスト問題を実施し，数値化する。
 - ・調理実習では，個人調理を行い，一つの作品として提示させ，評価しやすくした。
- #### 自己評価
- ・具体的な自己評価の観点の提示
 - ・学習カードを使用し，蓄積する生徒の自己評価
 - ・技能面で，生徒が具体的に評価できる観点を示し，自己評価・相互評価を行う。

(8) 小中高のかかわり，他教科との連携の工夫

小中高の連携

- ・夏休みに通学区合同研修会があり，小学校の先生との連携を深めた。
 - ・町内に小学校の先生方と協議する会があり，互いの情報交換をしている。
 - ・小，中，高の内容が重複しないように生徒が興味をもって学べるようにする。
 - ・小学校6年生の卒業制作を，中学校の技術科教諭が指導し，1年のものづくりと結びつけている。
 - ・小学校で身につけた技能を活用できるようなガイダンス教材の研究。
 - ・小中一貫校（来年度スタート）に向けて，小中職員の交流，TTなど。（両小野中）
 - ・情報については，高校の教師と連携
- #### 他教科・領域との連携
- ・道徳，学活，総合的な学習の時間との連携を図った授業展開の研究
 - ・総合的な学習の時間で郷土料理講座を選択している生徒を，学習リーダーとして学習を進める。
 - ・総合的な学習の時間と連携し，減少してきている技家の時数では扱えない製作学習を取り入れている。

(9) 道具や材料，学習環境の整備の工夫

工具や用具の整理・整頓

- ・教材教具の整頓，使いやすく，管理しやすい環境づくり
- ・手作り道具整理ケース
- ・いろいろな道具を，箱に入れてしまうのではなく，揃っているか一目見てわかるような整理の工夫。
- ・道具への番号付け
- ・番号をそろえて整理することで，紛失等に生徒も気づけるようにしている。
- ・包丁・まな板は鍵付きの殺菌できる保管庫に保管し，常に衛生面に配慮している。
- ・インフルエンザ等の感染に備え，抗菌まな板，包丁，収納庫を購入。

機器や設備，教室環境の整備

- ・生徒の経験が少ない分，余計によい道具を使う必要がある。点検・修理を心がけている。
- ・定期的な修理と動きやすい教室づくり
- ・道具の整理整頓がしやすいように棚を設置
- ・製作途中の作品を整頓して置く棚の整備
- ・各机に1セット揃えたほうきとちりとり
- ・ドリル刃研磨機を購入し，切れ味を保って金属に穴空けできるようにしている。
- ・のこぎりの刃は2年に1度は付け替え，カンナの刃も年1～2回は研ぐ。
- ・竹筒オイルを使ったのこぎりやかんなの手入れの指導
- ・スペースがないため，木工室と金工室を合わせて技術室とし，作業スペースを確保している。
- ・ミシンの整備，台数の確保
- ・ミシンや用具，調理器具等の使用者を決めておく。
- ・粉塵対策のため，部屋を仕切り，全体に拡散しないようにした。（ベルトサンダー）

安全指導

- ・危険物の除去，安全な環境づくり
- ・安全で使いやすい技術室の機械や機の配置
- ・機械がある壁面に安全の注意書きを掲示。

学習効果を高める工夫

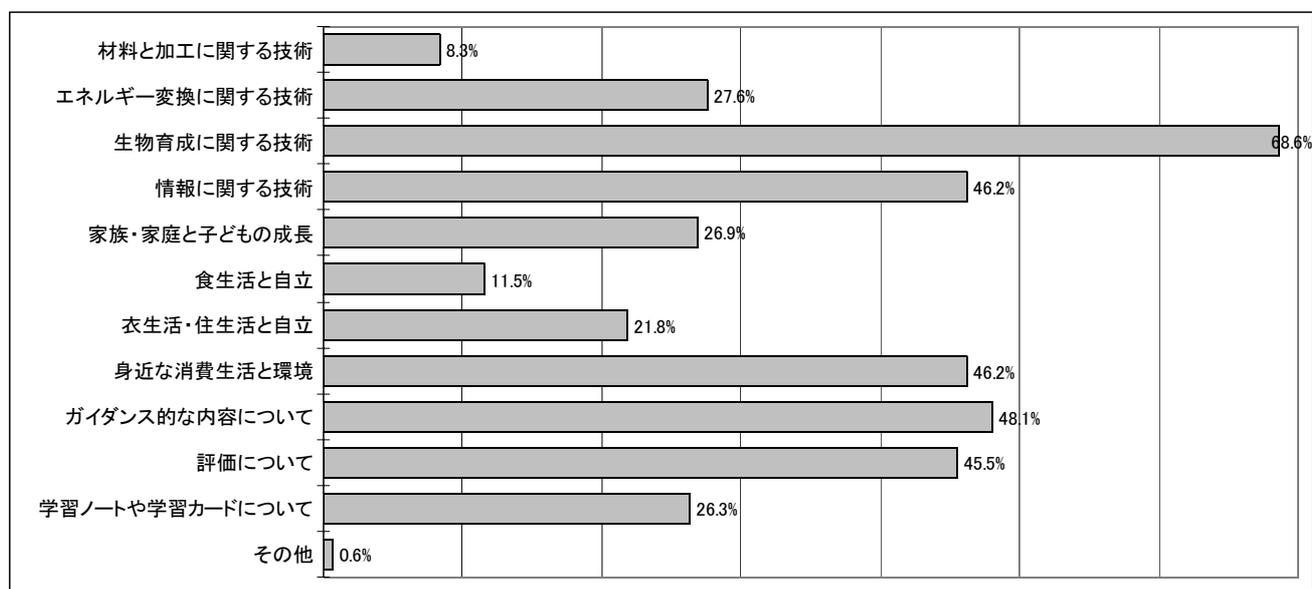
- ・自作工具，ジグによる製作
- ・生徒の立場で，製作しやすい材料や工具の選定
- ・LEDライト(ココナッツ)の製作では，基板のはんだ付け用ジグやペット板の過熱用ジグを作成し，製作の効率を上げた。
- ・教室掲示物を充実させ，追究の際のヒントにしたり，知識の定着を図ったりする。
- ・経験の少ない生徒が，失敗をしないようなジグの開発や，図示方法，掲示物の研究を行っている。
- ・少ない時間で効率よく製作を進めるため，一人ひとつ道具が使えるような環境整備をしている。

(10) その他

- ・3年生の授業時数を増やして（選択教科），製作と評価を十分に行えるようにしている。
- ・3年は学級を名簿の前半と後半で分け，半分の人数にし，技術と家庭分野を交互に進める。
- ・教科内で，つける力，課題把握や学習課題のもたせ方について共通理解している。
- ・授業参観などを利用して作品を展示する。

- ・この項目は、今年から調査を開始した。これまでは「指導の重点」という名称で調査していたが、実際の先生方の取り組みを具体的に知り、それを現場に活かしていくことを願って変更した。その結果、先生方の工夫している取り組みを数多く寄せていただいた。回答していただいた文章そのものは短いですが、その「一行」に先生方の工夫や苦労が詰まっているのを感じた。まとめてみると4ページに渡るものになったが、一つ一つの文章を大事に読み、今後の指導や研究に役立てていきたい。
- ・工夫している点では、「製作題材や教材、教具」「題材展開」「学習方法」が多く、「道具や材料、学習環境の整備」が続いている。本教科にとって大事な点を挙げていただいたと感じる。
- ・この調査から、技術・家庭科教師がどれだけ工夫して授業を創り上げているかがわかった。「工夫し創造する能力」や「実践的な態度」は、技術・家庭科でつけていく力であるが、教師の実際に行う姿で、生徒を指導していくことができると確信した。工夫をしていくことは大変なことであるが、この姿勢を大切に、自信をもって取り組んでいきたい。

8 指導資料や研修が必要な内容（4つ程度を選択）



- ・指導資料や研修が必要な学習の内容については、昨年度同様、「生物育成」「情報」「身近な消費生活と環境」の三つが上位に上がってきた。また、「ガイダンス的な内容」や「評価」も上位を占め、その方法について先生方が不安に感じているのがわかる。今回の報告書でも、評価を中心に、それぞれの学習内容の提案をした。参考にさせていただけるとありがたい。また、今後も、先生方には先験的に実践をしていただき、その情報を交換し合って、よりよい方向を見つけていきたい。

9 指導上の悩み

(1) 新学習指導要領への対応について

全体を通して

- ・新しい学習指導要領に対応した題材開発や授業展開をどのようにしていくか、全般的な研修が必要。
- ・内容は必修になったものの時数の変化はなく、広く薄くの詰め込み感が否めない。
- ・基礎的・基本的な知識・技能の精選と、評価し活用する能力の育成をどのようにしていくか。

指導計画の立案、題材選定について

- ・新学習指導要領実施に伴い、3年間を見通した指導計画の立案と、時間配分をどうするか。
- ・新学習指導要領に対応した新しい題材と題材展開について具体的に研究する必要がある。
- ・新しく必修になった内容について、どんな題材を扱っていけばよいか。少ない時間数の中でどう位置づけていくかが課題。

ガイダンス的な内容について

- ・新1年生から新学習指導要領の移行期間にあたり、ガイダンス的な内容でも製作を入れたいが、時間が限られているので、苦労している。

「生物育成に関する技術」について

- ・「生物育成に関する技術」での題材開発と題材の選定
- ・全校作業を、「生物育成」としてカウントしてよいか
- ・計測・制御の学習の進め方
- ・計測・制御の教材や題材の選定
- ・指導と評価の方法
- ・場所と設備，用具と予算が全くない
- その他
- ・新学習指導要領で履修時間が少なくなる被服製作で，何を作れば効果的か。
- ・学習内容が増えたため，木材加工がじっくりできない。融合教材で材料の特性を学ぶべきか迷う。
- ・選択がなくなり実質的には教科としては授業数が減。残念です。今回の改訂で家庭分野については整理され良い内容になっていると思うが，時間数がもう少しほしい。全日中での長野県提案は良くできていると思うので実践していきたい。
- ・選択の時間が無くなることによって，時間をかけて作り上げる製作の喜びを今後どう味合わせていったらよいか...

(2) 授業づくり，教材研究，評価について

題材展開，製作題材や教材の選定について

- ・どのような教材を扱うことが，生徒にとって「生活に生きる」ものとなるか，日々悩んでいる。
- ・つける力をきちんと考えて題材展開を考えること。
- ・技能は未熟であるが，イメージは高度な物を製作したがる生徒に，そのギャップを満足させる題材の選定。
- ・3年生の教材と学習展開が悩みです。
- ・布を使った製作の題材に悩んでいます。
- ・家庭分野では，地域とのかかわりや郷土食，実習等，その学校独自に題材を工夫する必要がある。どのような教材がよいか，考えることが難しい。
- ・各家庭で「無駄」と思われない教材はないものかと考えています。
- ・特に情報関係で題材を何にするか悩む。今ある教具をうまく利用できない場合に悩む。また，長期の展望でどんな機器を入れていったらよいか悩む。
- 問題解決的な学習の展開，意欲的に取り組む学習について
- ・教師が，教科書と学習ノートを教えることが多く，生徒自らが考え，学習する場面が少ない。
- ・個が意欲的に課題に取り組むための指導について。
- ・生徒が目的意識をもち，意欲的に取り組むための指導の工夫について。

評価について

- ・生徒の創意・工夫をどのように評価していくかが，毎回苦労しているところです。テストに創意・工夫を評価する内容を入れることも考えていますが，授業内に組み込めないかと悩んでいるところです。

研修について

- ・一校一教員が多いと思うので研修の機会を多くとってもらいたい。
- ・家庭分野全般について，わからないことばかりだが，校内で直接指導してもらえる機会が少ないこと。
- ・技術と家庭分野で，お互いの授業を見合える時間が設定しにくい。
- ・校内に一人しかいないので，実技講習や研修をしてほしいこと。

その他

- ・教材や資料の不足から，次への展開へと授業が進まず，内容のふくらみがない。
- ・少人数のため話し合いが深まらない。話し合い活動のあり方。
- ・校内に教科担任が一人しかおらず，判断に迷うところが多い。
- ・今年初の試みとして園児とは別に，老人との交流を前倒しして行った。

(3) 授業時数について

- ・3年生の指導時数が少なくて，魅力があり完成の喜びが味わえる題材を選定しにくい。
- ・3年生の評価について，作品製作から評価するには35時間では少ない。
- ・3年生は，技術と家庭を一週間交代で行っているが，授業が開くと生徒の意識が低くなってしまう。
- ・保育園実習・乳幼児検診など時間がかかるため，中3の授業時間は不足している。
- ・3年生は，「技術」を教わるのが人生で最後だというのに17.5時間（2週間に1時間の授業）では思い出に残る良い作品を作らせてあげられない。
- ・教えたい内容はたくさんあるが，とにかく時間数が少ない。
- ・指導時数が少ない中でも，生徒がじっくりとものづくりに取り組む時間を確保したい。
- ・少ない時間の中で，どのように効率的な学習を仕組んでいくのか。
- ・時間数が足りない。これまで学ばせてきた基本的な学習のどこを削って新しく入ってきた内容を扱っていくのか。生徒の経験不足に拍車がかかっており，それを補い習熟させていくための時間がない。
- ・総合で2，3年生で35時間ずつ増えています。

(4) 生徒の実態について

生徒の素地能力について

- ・話が聞けない、ノートが取れない生徒が多く、技術・家庭科の授業以前の問題がある。
- ・基本的な生活技術が身につけていない生徒が多く、一から教えるには時間が少なく、きびしい。
- ・原体験が少ないせいで、技能の定着が難しい。 ・生徒の能力にバラつきがある。

進度や意欲の差について

- ・年々、生徒の基礎技能が落ちている中、製作活動の進度差が激しくなっている。
- ・進度の差を埋める作業や学習を仕組むのが困難である。
- ・製作進度の個人差が大きく、早く出来上がってしまう生徒への対応に困る。
- ・時間数が少なく、製作進度に差があるため、居残りで進めざるを得ない。
- ・個々の意欲が違うので、意欲の少ない生徒への指導が難しい。

その他

- ・アレルギーをもっている子が増えてきて、普通の題材で調理実習をすることが難しくなっている。
- ・生徒の実態（家庭環境）が複雑である場合、「家族・家庭と子どもの成長」の授業展開をどのように工夫したらよいでしょうか。学習の進め方に迷いを感じてしまうことがあります。

(5) 地域、小学校との連携について

保育園・幼稚園訪問について

- ・幼児とのふれあい体験が必修となるが、受け入れてもらえる施設がない。
- ・地域の幼稚園や保育園とのつながりをどのようにつくっていくのか。
- ・保育園実習について、昨年度は新型インフルエンザで未実施になってしまった。
- ・外部機関との日程調整に苦労している。（例えば、先方の都合により、保育実習をこちらが意図する時期と違うところで行わなければいけないことが出てくる）
- ・本校通学区内に児童擁護施設があり、保育の導入、展開が難しい。

小学校との連携について

- ・小学校と中学校の系統性を重視した指導のあり方について。
- ・近年、小学校の担任が家庭科を担当することが多くなった。中学校で小学校の範囲を学び直ししなければならぬのは承知しているが、指導する担任が家庭科の指導目標や内容をきちんと把握して教えているかが疑問。学年が複数学級ある学校では、扱う題材を統一し、小学校の学びが中学校につながることを意識して指導にあたってほしい。

(6) 小規模校、非免許、講師等について

- ・非免許での指導のため、不安や悩みは多いです。免許はあっても2種なので、わからないことも多くて悩みながらやっています。
- ・技術分野は、中学校教員には免許を有する者がいないため、併設されている小学校から免許を有する職員に乗り入れてもらって、非免許を解消しています。
- ・非免許申請により、技術・家庭科を3名で担当しており、生徒に専門知識や技能等の指導ができず、生徒に十分な満足を与えられないこと。
- ・非免許であるため、研修会に参加してスキルアップをはかっている。経験不足は不利だが、生徒と一緒に悩むことができる。
- ・非免許であることから、教材研究に時間がかかる。他校の先生からアドバイスをもらっているが、なかなか厳しい状況にある。
- ・人数が少ないため、調理実習費が高くなり、材料を使い切れず賞味期限が過ぎてしまう。

(7) 時間のなさ、校務の忙しさについて

- ・授業の準備や教材研究する時間が取れない。
- ・技・家の持ち時間が少なく、他教科や特別支援の担当になり、技家以外の仕事に時間がとられることが多い。体験的な授業準備をするのに時間がかかることを理解されていないように思う。
- ・教科の持ち時間が少ないため、他の教科などを持たなければならぬ教材研究や個に寄せた評価の時間が確保できない。
- ・学級担任等の仕事に追われ、教材研究や教室整備の時間がなかなか作れず、後回しになってしまう。

(8) 施設・設備・予算について

- ・40人学級に対応した器具道具の数量に問題がある。
- ・金工に使用する道具、施設が貧弱で、指導上困難をきたしている。
- ・生徒数に対して作品の保管スペースが少ないので、製作題材等で制限がある。
- ・消耗費が年々減額されていること。 ・予算の関係で、用具や機械をそろえることが難しい。
- ・予算が少ないため、使用頻度の低い工具を購入することが難しく、作業がうまくできないことがある。
- ・予算は教科への割り当てでなく、必要な時に事務と相談して購入している。不自由はない。

10 研究推進委員会への要望

(1) 研究の内容や活動の方向について

- ・ 8月7日の夏期研修では、展開案をもとに助言や各校の実践について情報が得られ、これからの指導に活かしていけそうです。
- ・ 新しい学習指導要領に適合するような学習カードの開発をお願いしたい。
- ・ 非免許の職員にとって、指導をするための研修が必要ですが、他教科と兼任しているので、非常に負担が大きいです。非免許解消のための提言、提案等を、声を大にして上げていただきたいものです。

(2) 研究の報告について

- ・ 3年の家庭分野で「家族・家庭と子供の成長」を学習する提案がされていますが、実際に行っている学校の具体的な評価の仕方も知りたいです。
- ・ ガイダンスの内容について、さらにたくさんの実践例を紹介してほしい。
- ・ 出来るだけ様々な教材を紹介していただきたい。また、各学校で制作した教材を紹介し合う場をもっと設けて欲しい。
- ・ 県内の先生方が作成されたワークシート(学習カード)をWebページなどに紹介して欲しい。
- ・ 「ガイダンス的な内容」の紹介など、県の手引き書には掲載されていない題材を紹介してほしい。
- ・ 研究事例の説明会や提示を行ってほしい。
- ・ 予算があれば、各領域ごとの題材集ができると、先生方に有効利用していただけたらと思います。

(3) 実態調査について

- ・ 実態調査の項目を精選していただき、記入しやすいものになっていてありがたい。
- ・ このアンケートが現場に生きる形でフィードバックさせることを望む。
- ・ 毎年予算の調査をしているが、この調査が子どもたちの学習の充実に直結しているかは疑問。

(4) ノート委員会にかかわって

- ・ 学習ノート委員会との協力を期待しています。学習ノートの充実をお願いします。
- ・ 長野県版の学習ノートをさらに使いやすくしたい。使用している言葉が、教科書と微妙に違っていたり、生徒に記入させたいポイントがずれたりしている部分がある。生徒たちが学びやすいものにしていきたい。
- ・ 新しい学習ノートの見本を早くいただけたらありがたい。

- ・ 私たちが直面している様々な課題を挙げていただいた。「悩み」と同様な内容が、前述の「工夫」で挙げられている。「悩み」を「工夫」で解決しようとしている私たちの取り組みが表れた調査と言える。全てが工夫で解決されるわけではないが、このように前向きに取り組むことで、少しでも改善していきたい。
- ・ 新学習指導要領について多くの悩みが寄せられた。平成24年度の完全実施を前に、本年度の1年生からは、既に「ガイダンス」を実施していなければいけない状況にあり、急いで対応していく必要がある。この報告書を参考にいただいたり、同好会の活動で情報を交換し合ったりしながら、よりよく実施していきたい。
- ・ 今年は、「技家の持ち時間数が少なくなり、他教科とのかけ持ちが増え、技家以外の仕事に時間が取られるようになった」という悩みが寄せられた。本教科の授業時数が削減された結果の悩みであるが、今後も、この問題は様々に広がっていくのではないかと心配される。技家教員の専門性を発揮する場をなんとか見つけていきたい。
- ・ 小規模校や非免許についての悩みも多く寄せられている。地区の同好会活動を活発にし、互いに支え合っていきたい。
- ・ 研究推進委員会への要望については、できるだけ県下の情報を収集したり、新たな実践をしたりして、会員の先生方に報告や提案をしていきたい。また、報告書ばかりではなく、Webページでの紹介も考え、対応していきたい。
- ・ 現在、私たち技術・家庭科教員の前には、様々な課題が山積みになっている。しかし、それを回避しているのではなく、様々な工夫で解決していこうと取り組んでいる先生方の姿がある。このことを自信にし、さらに教科の存在意義をピーアールしたり、他から評価される実践を積み上げたりすることで、10年後の学習指導要領改訂時に、本教科の授業時数を増加させ、それに伴って教員数を増加させていきたい。
今後とも、先生方のご協力をお願いしたい。